



豊橋市

ふれあい食堂 きりん堂

子どもたちの成長を地域全体で見守る
～世代を超えたふれあいの場づくり～

今回は、『ふれあい食堂 きりん堂』の白川記令（しらかわきよし）様にお話を伺いました。

白川様が子ども食堂に興味を持ったきっかけは、「地域の居場所をつくりたい」と参加した豊橋市主催の「居場所づくり活動者交流会」での出会いでした。ふれあい食堂きりん堂では、子どもからおじいちゃん・おばあちゃんまで、誰もが参加できる「多世代交流型」の居場所づくりを目指されています。

『ふれあい食堂 きりん堂』は、食育活動と地域交流を目的に、毎月1回 日曜日の10時～13時に開催し、子どもからおじいちゃん・おばあちゃんまで、だれでも参加できます。

10時から11時は学習支援の時間、11時から13時は食事の時間です。学習支援の時間には、知育玩具で遊ぶ、絵本を読む、学校の宿題に取り組む子たちがいます。また、体を動かして遊びたい子は、「モルック」をして楽しんでいます。



開催日には、校区内からの参加者が多いですが、市内の離れた校区からも親子で参加される方もいます。慣れてくると子どもだけでの参加もあります。

開催を通してお友達ができて一緒に遊んだり、食事提供の準備と一緒にしたい！と料理の手伝いや、会場の準備を手伝ってくれる子たちもいます。

運営は、近所の子育てママさんたちが中心となり、料理の準備や、会場の受付、子どもたちと一緒に遊ぶなど、自然と役割をもって取り組んでいます。月1回の集まりが、ママ友会のように楽しみながら活動しています。また、近所のおばあちゃんが受付の手伝いや子どもたちと遊んだり、当日参加している子どもたちやママさんも手伝ってくれたり、参加型のふれあい食堂になっています。



私たちの目的は、「食育活動の一環として、子どもを中心とした体験型の食堂を通じて子どもの心身の成長を促し、地域全体でのふれあいを推進する」こと。食堂の運営では、子どもたちにもお手伝いをしてもらい、自立や成長を地域みんなで温かく見守っています。

また、食堂は多世代交流・地域コミュニティづくりの場でもあります。子どもや大人が、さまざまな理由で集まってきましたが、誰にとっても「遊びに来てほっとできる居場所」を提供していきたいと考えています。

（ふれあい食堂 きりん堂 代表 白川記令）

【ふれあい食堂 きりん堂】

▼場 所

豊橋市前田中町2-1

▼日 時

毎月1回・日曜日 10時～13時

10時～11時 学習支援・11時～13時 食事提供

▼対象者・料金

子ども 100円／高校生以上 200円

▼連絡先

0532-75-8175

Instagram ↓



@Kirindo_fureai

きりん堂では、ほかにもこんな取り組みも♪／

モルックくつろぎ場 きりんのむれ

ふれあい食堂から発展し、健康増進と多世代交流を目的に、毎月第2土曜日に開催。

まちのお菓子屋さん 「きりん堂」

誰もがいつでも立ち寄れる、地域の寄り合い所のような常設の居場所づくりを目指しています。



瀬戸市

ノベルティ・こども創造館



日本を代表する窯業のまち「瀬戸」で作られる陶磁器は多岐にわたりますが、とりわけ「ノベルティー - Novelty -」と呼ばれる置物や装飾品は他の産地には見られない生産量と高い技術を誇ります。ノベルティ・こども創造館では、「瀬戸ノベルティ」などの瀬戸で作られてきた優れた製品の鑑賞や、土や粘土などを使った創作体験を楽しむことができます！



★無料体験プログラム <開館日の毎日開催> ※作品はお持ち帰りいただけません。

- ▷つち★スタジオ 「へら」や「しっぴき」など道具を使って、テーマにあわせた作品を自由につくるコーナー
- ▷つちタッチ工房 粘土の「形が自由に変えられる」という特徴を体感できる「遊び場」
- ▷つち★ラボ 「つち」などの素材について新たな発見ができるよう実験的に楽しめるコーナー



★有料体験プログラム

- ▷ノベテクたいけん工房 ノベルティの製造工程の中にある「原型づくり」「鑄込み」「絵付け」に基づいた3つの体験コースがあります。
- ▷おてがるといけん 現プログラムでは、ねこの形をしたオーナメントに、色ペンで簡単に絵付け体験ができます。



↓公式Webサイト



↓インスタグラム



詳しくは、公式Webサイトから体験カレンダーをチェック！

【ノベルティ・こども創造館】

住所：瀬戸市泉町74番地の1 電話：0561-88-2668 開館時間：10：00～17：00

休館日：月曜日（休日の場合は翌平日休館日）及び年末年始（12月28日から1月4日まで）

入館料：無料 ※一部、参加費（100～500円）が必要なプログラムがあります。

公式Webサイト：<https://www.city.seto.aichi.jp/docs/2010/11/10/00080/>

9月1日は
防災の日

備蓄食品がごちそうに变身!! 災害用備蓄食品活用レシピのご紹介

いつ起こるか分からない災害に備え、日常からの食料の備蓄は重要です。

東海農政局では、愛知学院大学と連携して備蓄食品のアルファ化米などを活用した『備蓄食品活用レシピ～びちクッキングでごちそうに变身!!～』を作成しています。食料の備蓄には、備蓄食品を定期的に飲食し、使用した分を補充する『ローリングストック法』がおすすめです！レシピをご参考に備蓄食品をおいしく消費し、新しいものに入れ替えておくことで、いざという時に備えましょう！

～メニュー例～

【主食メニュー】

- ▷アルファ化米お好み焼き
- ▷アルファ化米ライスバーガー

【主菜メニュー】

- ▷焼き鳥缶コロッケ
- ▷鯖缶しゅうまい

【間食メニュー】

- ▷桜餅 ▷フルーツ飴
- ▷みたらし団子

東海農政局 公式Webサイト：

<https://www.maff.go.jp/tokai/shohi/seikatsu/heya/rental/index.html>



check!



子どもの居場所
応援フサ
問合せ先

愛知県社会福祉協議会ボランティアセンター内

TEL:052-212-5504

FAX: 052-212-5505

Eメール: info@aichivc.jp

HP: <http://aichivc.jp/>

〒461-0011 名古屋市東区白壁1-50愛知県社会福祉会館2階

情報提供待ってます♪

